

(中) 第2学年 人権 科学習指導案

学習指導者 〇グループ

1 単元名 仲間づくり

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

人権の授業では、自分の考えや思いを伝え、相手の思いを受けとめる集団づくりを大切にしたい。そのため、語り合える、受けとめ合える集団づくりを目指す。

3 単元構成

- ① 相手の思いや考えを受けとめる仲間づくり。(本時)
- ② 多様な生活テーマにグループワーク中心で語り合う。
- ③ 教材「仲間」から、それぞれの立場の思いを考える。
- ④ 本当の「仲間」について考える。

4 本時の学習指導

(1) 目標

・他者と語り合う中で、肯定的な受け止めができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応	
(1) 「どんな聞き方?」 ゲームを班ごとに 役割分担に基づ て行う。	指示カード① 「話しにくい」「本当に聞いているのかな?」 指示カード② 「うれしそう」「自分のテンポで話したい」 指示カード③ 「話しやすい」「聞いてくれよううれしい」	指示カードに基づいて聞き役が 様々な聞き方で話を聞く。 終わるたびに振り返りを行い、 話しやすさの確認をする。
(2) 指示カード①～③ 「どれが話しやす かったか選ぶ」 学習結果を確認 する。	相手の話しやすい聞き方しよう。	指示カード①～③で最も話し やすかったのかを選ぶ。
(3) 指示カード③を もとに話しやすさの 理由を考え、 「どうだねゲーム」を する。	「目を見て聞いてくれた方が話しやすい」 「あいづちをうってくれた」 〈どうだねゲーム〉 「話を受けとめてもらえてうれしかった」 「得意なことを様々なあいづちで聞いてもらえて 話しやすかった。」	あいづちに注目し、会話をするとき のあいづちの種類と出さず。 肯定的・否定的なあいづちに 分ける。
(4) 肯定的なあいづ ちを用いてサイロ トークを行う。		話しあっている班があれば、 聞き方のポイントを確認する。
(5) 本時のまとめ 振り返りをワフ シートで行う。	「指示カード②はすごく冷たく感じて話しにく かったけど、肯定的なあいづちを用いて話すと 温かく感じて話しやすかった。肯定的なあいづちを 使って色々な人と話してみたい。」	

指示カード①

- 相手に、または相手の言うことに興味がない
- 相手を見ようとなない
- 横を向いたり、手遊びをしたりする
- 髪の毛をいじる
- (聞き手が2人の場合)
聞き手同士で関係のない話をする

指示カード③

- 相手に興味があり、相手の話を聞くという姿勢
- 聞くというところ、動作や顔の表情、あいつちなどて伝える。

指示カード②

- 相手の話を聞くとなない
- 相手の話の途中で、「なんで」「なんで」と聞いて、相手やが話しにくいようにする。

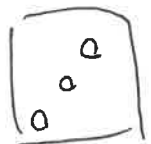
サイコロトモング



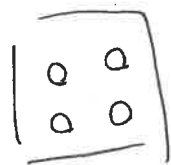
会、てみた.. 芸能人



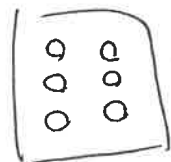
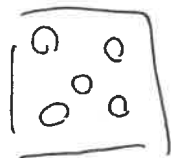
行、てみた.. 国や場所



好きな給食のメニュー



マイブーム



1

2

3

4